

令和5年度 総合技術研究所関連の行事等の紹介

令和5年

4月17日～

・総合技術研究所オリエンテーション

総合技術研究所オリエンテーションを「令和5年度総合技術研究所の利用受付および利用に関する留意点等について」と題し学内のグループウェア上で実施しました。「総合技術研究所の利用について」をはじめ「廃液・産業廃棄物取り扱い」などの資料を配布、また「総研の安全な利用のために」を動画で配信し、指導教員（総研利用申請者）へは「周知確認書」の提出を依頼して利用者全員への周知を行いました。

6月29日

～30日

・第16回 愛知工業大学プロジェクト共同研究シンポジウム

両日とも最初に、総合技術研究所長 鈴置保雄 教授からの挨拶と本学産学官連携の概要および進め方についての説明があり、2日間にわたり令和4年度に実施したプロジェクト共同研究の研究成果計18件（A研究13件、B研究5件）についての報告がなされ、それぞれの発表について活発な質疑応答がなされました。共同研究企業関係者、一般参加者、本学の教職員、学生を合わせ延べ99名の参加者がありました。



8月24日

～25日

・大学見本市 2023～イノベーション・ジャパン出展

本学からは土木工学科（※2024年4月、社会基盤学科に名称変更）山本義幸 准教授が出展されました。

- ・出展ゾーン 大学等シーズ展示ゾーン
- ・出展分野 インフラ・安全・社会基盤
- ・出展タイトル 『アクチュエーターを利用したセンサ間の時刻同期』

「大学見本市」は、3年ぶりとなる対面開催で、総来場者数 10,432 名と大変盛況なイベントとなりました。



8月28日～

・令和5年度 産学連携の推進に伴うリスクマネジメントに関する研修会

令和5年度に共同研究・受託研究・受託試験を実施している研究者及び産学連携を担当する職員を対象に、APRIN e ラーニングコースにより、「利益相反ダイジェスト」「研究インテグリティとその対応」「大学等における安全保障輸出管理」「デュアル・ユース：研究がもたらす影響の多様性」の内容で実施し、64名が受講しました。

10月6日

・第1回 AIT テクノラウンジを開催

学内研究者同士の交流を目的とした「AIT テクノラウンジ」を開催しました。

このテクノラウンジは学部、学科を横断した研究の促進。情報交換を目的として実施し、27名の学内研究者が参加しました。2名の教員が話題提供のを行い、その後、コーヒーブレイクにより交流を深めました。

[話題提供者]

- ① 工学部機械学科 香川高弘 教授

下肢麻痺者の「もう一度歩きたい」を実現する装着型生活支援ロボット

- ② 基礎教育センター自然科学教室 大島和幸 教授

ソリトンの数学



令和6年
2月21日

・第2回 AIT テクノラウンジを開催

「AIT テクノラウンジ」を開催し、18名の学内研究者が参加しました。

[話題提供者]

- ① 経営学部経営学科 柊紫乃 教授
現場改善会計論：改善効果の見える化
- ② 工学部応用化学科 手嶋紀雄 教授
環境・生体試料を精確かつ迅速に分析するにはどうすればよいか
～試料前処理剤の設計と流れ分析法への展開～



3月26日

・第14回 AIT テクノサロンを開催

第14回 AIT テクノサロンを「カーボンニュートラルに向けて」をテーマに自由ヶ丘キャンパスで開催し、約40人が参加しました。

4人の教員が、主に燃料の視点からカーボンニュートラルを進めるにあたっての現状

と課題を話し、終了後は交流サロンが開催され、参加者と教員らが軽食をとりながら意見交換を行いました。

- ① 総合技術研究所 近藤元博 教授
我が国のカーボンニュートラル燃料政策の動向
- ② 総合技術研究所 板谷義紀 客員教授
カーボンニュートラルに向けた地方創生エネルギーシステムにおけるブルー燃料の役割と課題
- ③ 工学部機械学科 西島義明 教授
燃料から考えるカーボンニュートラルへのアプローチ
- ④ 工学部応用化学科 糸井弘行 准教授
カーボンニュートラルに向けたエネルギー貯蔵材料の開発

